

9月定例議会



東日本大震災復興のため国の交付金が減額されたことで、福岡市も全体的に減額補正。その他、待機児解消のため670人分の保育所整備費の補正、太陽光発電普及啓発費の補正がありました。

■ドラゴンあらしの議案質疑

西区金武地区のかなたけの里公園整備事業について質問。用地費、建設費で32億円、維持管理費 年間7400万円。既に事業が始まっている状況なので、景観地区に指定するなど環境保全を図るとともに、地域資源を生かして地域経済活性化に役立つよう求めました。

■ドラゴンあらしの一般質問

(1)東日本大震災で生じたがれき受け入れについて、汚染が福島県以外でも広範囲に確認されており、受け入れないように求めました。東京方面の焼却場では一般廃棄物焼却灰が国の基準を超えてしまい、処理できない事態が起こっています。東電および国の責任で管理すべき問題。市は「国に受け入れを断った」旨の回答がありました。

(2)こども病院建設の入札問題について質問しました。「談合」としかいえないこの不正な入札について、市は居直った回答しかありませんでした。(詳しくは2ページ目の記事をご覧ください)

交通調査特別委員会



・地下鉄七隈線延伸について国に予算要望。天神南駅からキャナルシティ経由で博多駅まで。博多駅の乗り換えは150m、利便性に問題がある。また費用450億円で、効果と採算性が問題。

・都心部の交通問題として渋滞解消策の検討。交通空白地、高低差が大きい地域の交通対策を検討。

・自転車交通について道路に専用レーン設置の検討。

決算特別委員会



22年度決算は、一般会計の実質収支は41億円の黒字となっていますが、臨時財政対策債という借金を増やしており、問題があります。市税収は減り続けている一方で義務的経費は増え、財政硬直化が進んでいます。三会計で200億円の借金を減らしますが、まだ2兆4900億円、一人あたり174万円の借金が残ったままです。

■ドラゴンあらしの主な質問内容

(1)こども病院建設入札について再度質問。こども病院移転後の西部地区の医療体制ができていない状況について質しました。

(2)学校給食における安全確保のための放射能測定の実態について質問。放射能測定の必要性を訴えました。

12月定例議会



主な議案は、人事委員会勧告による職員給与減額改正、文化政策を経済振興局に組み入れて新たに経済観光文化局を設置する、市役所1階に喫茶店や環境紹介コーナーの設置など。

■ドラゴンあらしの議案質疑

(1)経済観光文化局の設置について。福岡市が地域経済を活性化させるために基本的には反対ではないが、文化財の調査・保存など経済的価値を直接生み出さない部門が軽視されることが危惧されると発言。観光のための施設整備であればすぐメッキが剥がれると指摘。

(2)街の賑わいを生み出すことには賛成であるが、政策の優先順位のつけ方がおかしいと指摘。改装費1億3800万円に比べ、こどもたちのための放射能測定器設置費用3000万円は安いと考えるが、この支出はしない福岡市。放射能測定器設置のほうが優先順位が上であるべきと訴えましたが、明確な回答はありませんでした。

水増し疑惑に関する真相解明を求める こども病院問題 調査特別委員会 設置の請願が否決!

市が700万円もかけてpwcアドバイザリー社に依頼した、こども病院の現地建て替え費用の見積り額。福岡市は1.5倍に水増しして「現地建て替えは高い」として人工島移転の必要性を主張。1.5倍の根拠として「ゼネコン3社にヒアリングをした結果」だと説明してきました。

高島市長が設置した「こども病院移転計画調査委員会」において、現地建て替え費用の根拠はなかった

とされました。さらにその後、こども病院住民訴訟において福岡地方裁判所の嘱託調査が行われ、裁判所は調書を証拠として採用しました。ゼネコン3社の回答は、2社は「依頼は受けていない」、1社は「依頼は受けたが、現地も見えていなければ、1.5倍ということも言っていない」と答えています。

12月議会で調査特別委員会設置を求める請願審査が行われました。市民の負託を受けている議会の責任として事実を明らかにしなければなりません。ところが、議会は係争中であること、証拠として採用されたことが必ずしも事実と認定されていないという理由で請願を否決しました。機能不全に陥っている議会の責任を問わなければいけません。